

でも走っているゾウを見たのは初めてです!!すごい迫力でこれには感動しました。

獣医師ということもあり、4日間は獣医師に付いて歩きました。サンディエゴ動物園には巡回をする獣医師が1名、病院に詰める獣医師が5名いました。

一緒に巡回をしていて驚いたのが、ほとんどの動物舎に人の名前が付けられていることです。

アメリカは寄付文化のため、多くの施設が寄付によって作られていて、寄付者のお名前が掲示されていました。

もちろんそれは動物舎だけではなく、動物病院やサファリパークに併設されている研究所、サファリ内のメリーゴーランドなどの遊具も含まれています。

メリーゴーランドは、普通のものとはちがって、乗るのは馬ではなく、トラやキリン、オカピ、カエル、アメリカの国鳥であるハクトウワシなどで、ただ楽しむだけでなく、希少野生生物について学ぶこともできました。

「世界でもっとも有名な動物園」と冗談混じりでスタッフが言うだけあって、非常に規模が大きく、釧路市動物園とは比較になりませんが、見習えるところはたくさんあり、勉強になりました。

市民の皆様の寄付でこういった機会を与えてくださったこと、大変感謝しております。この場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



Beckman夫妻記念保全研究所のエントランスホール



トキの人工給餌



座るとワオキツネザルの姿に見えるように尾の模型がついた椅子



寄附者の名前が載っている看板